

当会の教育セミナー1999年に第1回を開催して以後、途切れることなく毎年定期的開催。
ファンダメンタル・コースでは基礎的な内容を繰り返し取り上げ、
アドバンス・コースではトピックを短い時間でテンポ良く、分かりやすく講演して参りました。

28年目を迎える今回は、プログラムを大きく変えました。
学術団体だからこそそのテーマを、と考えたプログラムです。

2026年2月8日（日）ファンダメンタル／15日（日）アドバンスともに
Web開催です。

質問などは、どんどんチャットで飛ばしてください。
思考の刺激となり、日々の研鑽に役立てていただけたら大変嬉しく思います。

是非とも、多くのかたのご参加をお待ちしています。



日本心臓病学会 学術・教育委員会委員長 坂田泰史

2026 年 教育セミナーのご案内

ファンダメンタル・コース

すべての介入は心不全の発症・進行予防のために：各領域の治療を考える

「心不全ステージが A→B→C→D と進行しないようにする」という共通の目的のもと、循環器専門医が各ステージに応じた専門性をもって、どのように取り組んでいるかを俯瞰することを目指します。

アドバンス・コース

循環器学における 5 つのナゾに迫る

循環器学には、いまだ多くの「ナゾ」が存在します。本コースでは、「このナゾが解ければ循環器学は前に進む」と考えられるテーマを選び、なぜそれが未解決なのか、解決の鍵となる知見は何か、といった思考のヒントを見つけていただければと思います。

※本年 11 月より参加登録開始予定。詳細は、当会 HP をご参照ください！

ファンダメンタル・コース

開催日：2026年2月8日（日） 10:00～12:40 /Web開催

対 象：メディカルスタッフ（看護師／技師…），医師（研修医・専修医、若手医師）

テーマ：すべての介入は心不全の発症・進行予防のために：各領域の治療を考える

時 間	プログラム（敬称略）
10:00-10:05	〔座長〕 世良 英子（大阪大学大学院医学系研究科 循環器内科学）／ご挨拶と主旨説明
10:05-10:35	1) ステージ D における LVAD 治療：すべての循環器スタッフに知ってもらいたいこと 波多野 将（東京大学医学部附属病院 高度心不全治療センター）
10:35-11:05	2) ステージ C における血行再建：心不全の進行予防という観点から考えると何が大事？ 山口 淳一（東京女子医科大学循環器内科）
11:05-11:10	5分休憩
11:10-11:40	3) ステージ C における弁膜症治療：心不全の進行予防という観点から考えると何が大事？ 大野 洋平（東海大学循環器内科）
11:40-12:10	4) ステージ B における心房細動治療：心不全の予防のためのステップは？ 夢田 浩（福井大学循環器内科学）
12:10-12:40	5) ステージ A からの進行を抑える生活指導：その啓蒙はどのように？ 室生 卓（倫生会 みどり病院）

アドバンス・コース

開催日：2026年2月15日（日） 10:00～12:40 /Web開催

対 象：医師（勤務医、開業医、研修医・専修医）

テーマ：循環器学における5つのナゾに迫る

時 間	プログラム（敬称略）
10:00-10:05	〔座長〕 坂田 泰史（大阪大学大学院医学系研究科 循環器内科学）／ご挨拶と主旨説明
10:05-10:35	1) なぜ plaque rupture は予測できないのか 上田 恭敬（大阪医療センター循環器内科）
10:35-11:05	2) なぜ CCS 患者において PCI が予後を改善するというエビデンスが少ないのか 真鍋 晋（国際医療福祉大学心臓外科）
11:05-11:10	5分休憩
11:10-11:40	3) なぜ副作用の少ない抗不整脈薬が開発されないのか 志賀 剛（東京慈恵会医科大学臨床薬理学）
11:40-12:10	4) なぜ運動療法は心不全に有効なのか 木庭 新治（昭和医科大学循環器内科学）
12:10-12:40	5) なぜ我が国において ACP(Advance Care Planning)が普及しないのか 高濱 博幸（東北大学循環器内科）

※本年11月より参加登録開始予定。詳細は、当会 HP をご参照ください！